KYOTO
DESIGN
AWARD
2016

京都デザイン賞 2016

入賞・入選作品集

KYOTO DESIGN ASSOCIATION

ごあいさつ

京都デザイン協会は、第一線で活躍するデザイナー及びデザイン関係者を結集し、デザインを通じて京都の地域産業振興と、豊かな生活環境の形成に寄与することを目的として設立、そのルーツは1952年、今から64年前の京都商業デザイン協会設立に遡ります。社団法人に移行し35年間、2013年6月には公益社団法人京都デザイン協会の認可を受け活動を継続しています。

「京都デザイン賞」の入選作品は、2009年度の第1回以来、京都の伝統と文化を守りながら、新たなデザイン手法を用いて、新しい京都のデザイン創出を図る作品を発見、顕彰、そしてその良さを広報し、流通に載せる一助を担うことを目的として公募し、応募された作品の中から、審査により厳選された作品です。

第8回の今回は61点の応募作品から、21点の入選作品を選出、その中から京都デザイン賞　大賞、京都府知事賞、京都市長賞、京都商工会議所会頭賞、京都新聞賞、課題部門／伏見の清酒・都鶴賞、京とうふ藤野賞、京の和文具賞、学生賞（画箋堂賞）をそれぞれ1点ずつ選出させていただきました。

ここに「京都デザイン賞2016」の入賞・入選作品を選出し展示させていただけますことは、出品者はもとより、後援、協力、協賛をいただいた多くの企業・団体・個人のみなさまのご理解とご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

私たちは「京都デザイン賞」で選ばれた優れた作品を、「京都発21世紀の大きな波」として日本、世界へ向け発信していく所存ですので、より一層のお力添えをお願い申し上げます。

2016年11月
主催者代表　公益社団法人京都デザイン協会
理事長　奈良 磐雄

審査員講評

久谷 政樹　（グラフィックデザイナー・京都造形芸術大学名誉教授）

知事賞受賞の「機能性介護食器」は一見、普段よく目にする伝統工芸品「松花堂弁当」品の良い、漆、陶器、磁器による、洒落た食器セットである。よく見るとお箸が無くて持ち手に特徴のあるスプーンが2種添えてあった。あれっ!これって介護食器?と思いコンセプトパネルに目をやった。コンセプトには京都の伝統工芸・医師・作業療養士・料亭・大学との共同で作った「食べる楽しみ」を叶える「感性価値の高い」機能性介護食器とある。ぼくはこれまで沢山京都の伝統工芸のデザイン商品開発に関係してきたが、意表をつかれた。

近年、科学技術の最先端でも「感性」という言葉をよく耳にする。それぞれの器は人間工学的に考えられ、角をなくす、返しをつけるなど様々な仕掛けがあり食べやすい構造になっている。キーワードは「感性と科学の融合」だと思う。

それにしても、よくこれだけ異分野の専門家でチームを組むことが出来たのだろうと驚くと同時に今後に期待したいです。この新製品に主役はいません。チームの勝利です。
この企画を成功させた、地方独立行政法人京都市産業技術研究所デザインチームのみなさんに敬意を表します

滝口 洋子　（京都市立芸術大学教授）

大賞の「紙庵」には和紙のピースを組み合わせて作り上げる造形の多様性や設置、移動の自由さに新しい可能性が感じられました。

知事賞の「機能性介護食器」、市長賞の「御所西の宿群」には時代がデザインに求めているユニバーサルデザイン性を踏まえながら世界からみた京都のイメージが大切にされていました。

この他にも入賞入選作品には京都デザイン賞の最大の特徴である「斬新な京都のイメージの創出」が、前面に京都をアピールするだけではなく、素材との向き合い方や丁寧なものづくりといったさまざまな角度から提案されており、興味深い審査会になりました。

繊維素材の作品では現実的で現代の生活にマッチした「カメラ風呂敷」「襟巻きジバン」が入選されています。これらのように数年にわたっての入選は大変難しいもので応募者のデザイン企画力が高水準で安定していることの証しだと思います。
次回は課題部門や学生からの積極的な参加、またジャンルを超えた社会性のある提案もみられるのではないかと期待しております。

村田 智明　（株式会社ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役
京都造形芸術大学大学院SDI所長・プロダクトデザイン学科教授）

紙庵は、8つ折りされた4000ピースの和紙片でできた鎌倉状の茶室。接着剤を使わず差し込むだけでできているため、違う形への応用展開へ発展できそうだ。二条城の土間に設置されたインスタレーションで、その新旧の対比やミニマリズムの感性が非日常の好奇心を与えてくれた。京都デザイン大賞に相応しい着想と実践だと思う。京都府知事賞を受賞したこの作品は、松花堂弁当スタイルの介護食器を提案し、従来の食を提供する側の都合で諦めてきた「食べる楽しみ」を叶えるために、清水焼団地協同組合や産技研、作業療法士、医師、料亭、大学との共同開発となった。蛤皿を始めとする機能性と感性美を兼ね備えた磁器や、またすくいやすい縁付き粥椀や握力に合わせた持ち手のスプーンなど、用の美とメンタリティに配慮した心遣いに京都らしさを感じた。京都市長賞を受賞した御所西の宿群は、一棟貸しの町屋と長屋の10棟が向かい合い、路地全体が一つのホテルとなっている。単一開発ではなく纏まることで、路地の環境がここまで美しく守られるという好実践事例だと思う。京都商工会議所会頭賞を受賞したmemo彫は、2つ折りでレーザーカットされたお辞儀のシルエットが立ち上がる切り絵のメモ。伝えたい人に京都らしい気配りを感じてもらえるデザインとなっている。京都新聞賞を受賞した数研出版の社屋の「透かし窓」は、蘇州の拙政園にある漏窓のように、内外を違和感なく折衷している。見る角度によって異なる見え方や発見があるのが新鮮だ。伏見の清酒・都鶴賞を受賞した作品は、すりガラス調のボトルに繊細な赤鶴の切り絵グラフィックが施され、その影がガラスに美しい奥行き感を与えている。学生賞を受賞した和紙おりは、京の風情の一コマが美しいイラストで表現されていて、コスパの高い土産アイテムをプロ並みに考えている点が評価できる。京の和文具賞を受賞した京のまごころのしは、京都弁のウィットを使う側の判断に任せたところに商品性が見られる。京とうふ藤野賞を受賞したスイーフは、豆腐をデザート感覚で食べるためにソース（蜂蜜、黒糖、ゆず）を付けたパッケージが斬新だった。

新井 清一　（建築家・京都精華大学教授）

審査会を終えて感じた事は、京都デザイン賞の今後の位置づけの示唆を行う上で、審査は重要な役割を担っているのではないかと思えた。各分野が一同に介して、京都のイメージ、独創性、使用勝手、素材・技術、環境などのキーワードをもとに多くの作品を俯瞰しながら見られるのは、楽しくもあり、又緊張する場でもある。

建築、ランドスケープ、インテリア、ディスプレイの分野は相対的にレベルが高く、好ましい限りである。中でも“御所西の宿群”は、京都の街の抱えている諸問題、環境、公共空間(路地的な空間)、及び細かいが故の公道に面さない不効率な場の存在を一挙にデザインと企画という構成を伴い、是正の方向にシフトさせている。この行為事態が賞を得るのに相応しいと思えた。“数研出版関西本社ビル”は京都らしさを実直に捉え、烏丸通りに面するファサードにアルミキャスト格子を用い、縁側的な中間領域を創成し柔らかな外内部の領域取り組み計ると共に、水平方向の庇に依る分節を施している。屋上回廊庭園の断面はパラペット処理の空間を利用している様に思えた。“京都産大サギタリウス館”の大階段スペースは地形と風景と空間を融合された自然に集まりたくなるような公共空間的な場が素晴らしい。

住宅作品では“右京の家”, “音と桜の家”が目に留まった。前者は大きくガレージ棟と居室棟の分離により、周辺又は囲まれる形で7つの庭を配置し、京都の風土に対応する風、光、視線の場をデザインの中に取り入れている。後者は単純な長手のフォルムと切妻断面の空間が美しい。音の効果がどの様にデザインと共に奏でられているのか感じてみたい作品である。

中島 信也　（株式会社東北新社取締役／CMディレクター、武蔵野美術大学客員教授）

「京都の伝統と文化を守りながら、新たなデザイン手法を用いて、新しい京都のデザインの創出を図る」京都デザイン賞。「京都の伝統と文化を守りながら」という大変な文言が記されてます。簡単に言うけど「京都の伝統と文化」を一言で言える人はおらへんのんちゃうか、と思います。建物で言うと神社・仏閣の様式やったりお庭の造形やったり、衣の世界では織物、着物、帯、小物の色や形は京都の伝統やし、食の世界では、京料理、京和菓子の造形から器、ほんで一方ではおみやげやさんで売ってるアクセサリーや小物も「いわゆる京都らしさ」は漂わせています。

本来やったら無限にあるこれらの品々から京都の造形の本質を抽出する手間をかけへんことには「京都の伝統と文化を守る」という凄いことはできないんとちゃうか、と思いますが、いかんせんデザイナーにそんな時間はどこにもない。かといって既成概念としての「京風」に乗っかればええのかというと絶対にそうではない。ほな、どうすればええのか?ここが「京都デザイン賞」に作品をだしてくるときの大元にあるデザイナーの苦痛なんとちゃうか、と察するわけです。

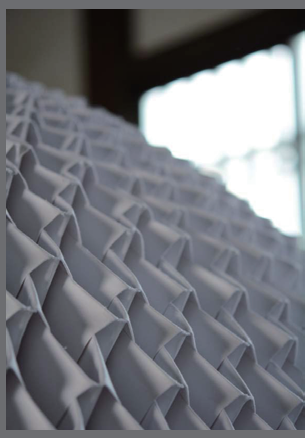
でもこのアワード、「伝統と文化を守る」ためにやるんとは違う。あくまで「新しい京都のデザインの創出を図る」というのが大目的です。これは「自由にチャレンジしようや!」っちゅうことやと思うんです。伝統的な造形モチーフを具体的に引用するのもよし、けどもそれを超える新しい挑戦を求めているんやと思うんです。京都から発信された新しい造形が新しい京都のイメージを生んでいく。こういうサイクルを構築するのがデザイナーの仕事やと思うんです。それをやらんと「古都デザイン賞」になってまう。

今回の大賞「紙庵Shi-An」はそういう意味で非常に強い発信力を持っていると思います。伝統和紙を用いてる。折り紙という伝統的な手法の上に成り立っている。ただ、造形はなかなか斬新で、なにかをモチーフとしているわけではない。「これなんやろ?おもろいなあ!え?これ『京都デザイン賞』の大賞?へええ!おもろいやん『京都デザイン賞』!」という声を求めたい。京都的モチーフを高度に昇華させた建築がこのところ大賞を獲得して、建築の世界では一目置かれてる賞となってるみたいですが、もっともっと広がりたい。グラフィックもプロダクトもテキスタイルもファッションも!もっともっと殻を打ち破るものを発信して、京都デザイン賞を盛り上げていかなあかん!と思ってます。

大　賞　<B部門>

紙庵　Shi-An

片桐和也、犬塚聡敬



和紙の折紙でつくられた、移動可能な茶室を構想しました。
８折して作った折紙ピースを、接着剤を用いず差込みつみ上げることで空間をつくります。
形態やサイズは用途によって自由で、シンプルな結合システムのため容易に設置・解体が可能です。
和紙を織り上げた小さな茶室は、生命体のような暖かく柔らかな空間となります。

Katagiri Architecture + Design
〒141-0031　東京都品川区西五反田 6-3-6-101
TEL：03-6804-8607
URL：www.k-a-d.jp　E-mail：katagiri@k-a-d.jp

京都府知事賞

＜B部門＞

京都の伝統工芸で「食べる楽しみ」を叶える感性価値の高い機能性介護食器

地方独立行政法人 京都市産業技術研究所　デザインチーム 竹浪祐介

これまでの介護食器は機能性が最優先され，おとなの食事に合うデザインが少なく，食欲増進の効果に改善の余地がありました。そこで，京都の伝統工芸品が持つ「おとな向けの美しさ」の感性的な魅力に着目し，健常者用の食器と違和感の少ない外観と機能性を融合させて“食べる楽しみ”を提供できる介護食器セットを開発しました。

税込価格：(参考) 食べやすいスプーン　16,200 円
内外商品販売店舗：漆器のアソベ　清水焼団地協同組合

（地独）京都市産業技術研究所
プロジェクト参画団体：
京滋摂食・嚥下を考える会
漆器のアソベ
清水焼団地協同組合
NPO 法人日本料理アカデミー
京都大学
〒600-8815
京都府京都市下京区中堂寺粟田町 91
TEL：075-326-6100
FAX：075-326-6200
URL：http://tc-kyoto.or.jp/
E-mail：tabba609@tc-kyoto.or.jp

京都市長賞

＜B部門＞

御所西の宿群

奥谷繁礼建築研究所 ＋ LINK UP

オモテの2棟2軒の町家と路地奥の2棟9軒の長屋を、10軒の宿泊施設に改修。
共用のサービススペースや常駐スタッフも設置。
京都旧市街に残存する路地と長屋に対し以下の点で有意なモデルとなる。
・路地奥で荒廃した空き家の健全化。
・路地とそこに建つ長屋群により形成される街並みの保全。
インバウンド沈着後は住宅として再活用も可能。

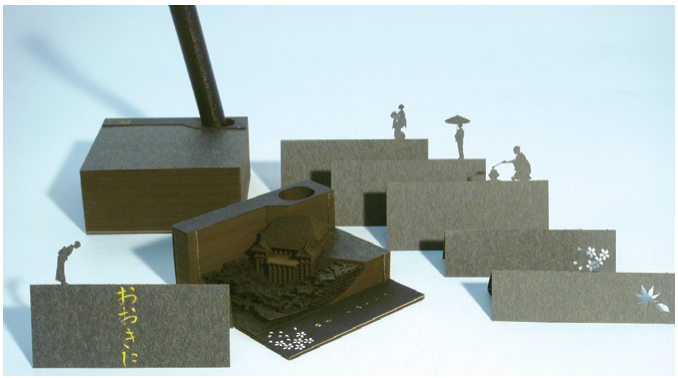
株式会社奥谷繁礼建築研究所
〒600-8029　京都市下京区寺町通五条上ル西橋詰町 762　京栄中央ビル 4F
TEL：075-361-5660　FAX：075-585-4181
URL：http://www.uoya.info　E-mail：shigenori-uoya @ sings.jp
株式会社リンクアップ
〒600-8009　京都市下京区四条通室町東入ル函谷鉾町 87 ケイアイ興産京都ビル 6F
TEL：075-744-1544　FAX：075-744-1533　URL：http://www.l-u.co.jp/

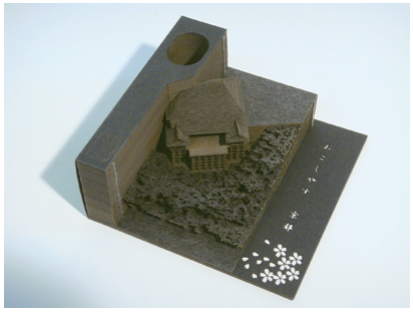
京都商工会議所会頭賞

＜C部門＞

『me-mo 彫』

川嶋秀樹





株式会社トライアード
〒555-0012
大阪市西淀川区御幣島 2-18-25
TEL：06-6473-5800
FAX：06-6477-2500
URL：www.triad-japan.com
E-mail：kawashima-h@triad-japan.com

京都新聞賞

＜B部門＞

数研出版　関西本社ビル

(株) 竹中工務店　有田 博、宮澤芳文、吉田直弘

京都発祥の教育系出版社の関西本社ビル。外観は各階の庇と外装全面にＣＩを千鳥格子状に編み込んだアルミキャストスクリーンによる深い陰影を纏う大らかな佇まいを表現した。内観は縁側中間領域や奥性空間を設け、内外部に連続性・素材感・溜り・透け・灯りの要素による「京都らしい形態・色彩」の本質が宿る空間を創出した。

(株) 竹中工務店
〒541-0053
大阪府大阪市中央区本町４－１－１３
TEL：06-6252-1201
FAX：06-6263-9750
URL：http://www.takenaka.co.jp/

伏見の清酒・都鶴賞

＜C部門-課題①＞

伏見の清酒「都鶴」

京都嵯峨芸術大学 短期大学部 専攻科　坂口　遥

京都に観光に来た外国人が手にとりたくなるようなお酒のラベルを提案しました。
瓶に直接、プリントすることを想定しています。多くの色を使わずに日本を思わせる赤をメインに使いました。
従来の日本酒らしくない、ワインボトルのような演出を試みました。

京とうふ藤野賞

＜C部門-課題②＞

京とうふ藤野「Sweefu」

京都嵯峨芸術大学 短期大学部 専攻科　坂口　遥

この作品のコンセプトが デザート感覚で食べられるとうふです。
甘いソースをかけてスプーンで食べる Sweefu は、こんな食べ物があったらいいなという思いから着想しました。
食卓に出る豆腐とは別の新たな商品として考えました。

京の和文具賞

＜C部門-課題③＞

京都の心を添えて、もっと気軽に贈り物　**「京のまごころのし」**

Visual Voice (CD)
河関摩里子 (企画 +D)
大澤ゆめみ (AD)
守谷直紀 (CW)

日本の贈答シーンで使用される伝統ある「のし紙」。
今回デザインしたのは、かしこまった贈り物向けではなく、日常で気軽に使っていただける「のし紙」です。
やわらかい京ことばにのせたメッセージを、おもてなしの象徴である舞妓さんのキャラクターが伝える一枚。
贈り物に添えれば、日頃のちょっとしたお礼や気持ちを、京都ならではの温かい表現で届けることができます。
何気ない場面で気軽に贈れて、さりげない心づかいが伝わる。
京都らしくて新しいギフトコミュニケーションを応援します。

学生賞（画箋堂賞）

＜C部門-課題③＞

和紙おり

京都嵯峨芸術大学 短期大学部
高田有莉咲

日本らしさを感じさせる小物、草花、食べ物などを落ち着いた可愛いイラストで表現し、京都の雰囲気を出した和風なしおりを作りました。柄は全部で十種類あり、その日の気分でしおりを変えて本などに挟んで楽しむこともできます。

入選（A 部門第 3 分野）

人類進化ベッド

座馬耕一郎（京都大学アジアアフリカ資料センター）
岩田 有史（株式会社イワタ）、**石川新一**（東南西北デザイン研究所）

京都大学総合博物館で 2016 年春に開催された「ねむり展」の展示プロトタイプ。日々、移動するチンパンジーが、毎日、木の上でベッドをつくることをから、その京都大学の研究員の体験を元に、その寝心地を再現しデザインした楕円型のベッド。展示やメディアで話題となり、好評であったことから、現在、本格的な製品化に向け検討を重ねている。（特許出願中）

内外商品販売店舗：
株式会社イワタ（予定）

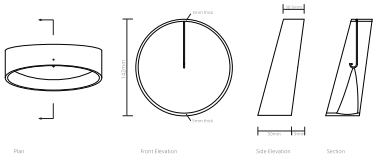
人類進化ベッド開発チーム
（株式会社イワタ 他）
〒604-8101　京都市中京区柳馬場通御池下ル柳八幡町 65
TEL：075-211-8321　FAX：075-211-7537
URL：http://www.iozon.co.jp
E-mail：shin1.i@f2.dion.ne.jp（石川新一　東南西北デザイン研究所アドレス）

入選（A 部門第 3 分野）

月と雲

studio mufufu 水島直洋＋寺西正貴＋水島左苗＋近藤潤

簡素で現代的な構成でありつつ、どこか伝統を感じる蚊取り線香ホルダーです。鈍く光る真鍮製で、仏具の様な質を備え、京都の様々な風景になじむことができる製品です。
くぼみをつけた灰皿部と、持ち運び用のハンドルを、リング状に一体で作り、蚊取り線香を引っ掛けるための金具を付加しただけの、シンプルな構成です。
少しだけリングの底部を厚くし、上部下部の重量差を作る事で回転したりせず、風などに揺られ、起き上がり小法師の様に揺れながら元の位置へ戻ります。
リングが月に見え、蚊取り線香が水墨画の雲の様に見えるため、名称を「月と雲」としました。



URL：http://mufufu.jp
E-mail：studio@mufufu.jp

入選（B 部門第 2 分野）

衿巻ジバン

SOU・SOU

着物や和装用の秋冬インナー。襟巻きをしたようなデザインで首元を暖かくガードします。ジバン『gibão』とはポルトガル語で肌着の事をいい、着物の肌着 " 襦袢 " の語源です。

税込価格：5,076 円～
内外商品販売店舗：SOU・SOU 直営店および netshop

若林株式会社
〒604-8042　京都市中京区新京極通四条上ル中之町 565-72　P-91 ビル 3F
TEL：075-229-6751　FAX：075-229-6750
URL：http://www.sousou.co.jp/　E-mail：net@sousounetshop.jp

入選（B 部門第 3 分野）

KASUMI

京すだれ川﨑

壁をデコル・空間をデコル・アートすだれ

税込価格：
300×300 mmサイズ　5,076 円
300×600 mmサイズ　9,396 円
300×900 mmサイズ　13,716 円
内外商品販売店舗：当店にて

京すだれ川﨑
〒621-0052
京都府亀岡市千代川町千原片ホコ 14-3
TEL：0771-22-6833
FAX：0771-22-6835
URL：http://www.kyo-sudare.com
E-mail：tegami@kyo-sudare.com

入選（B 部門第 3 分野）

くみ・とこ　KUMI・TOKO

草木義博

可動式の「床の間」家具。和室が無くなりつつある住宅、和室があっても床の間を設けない事も多い。洋空間に「くみ・とこ」を置く事で和空間が生まれる。和の室礼はもちろん、洋のコーディネイトも楽しめる。

税込価格：270,000 円（本体）
色紙・短冊掛け：25,000 円
内外商品販売店舗：
空間デザインワークス、委託店舗未定

有限会社 空間デザインワークス
〒603-8466
京都市北区鷹峯光悦町 8-4
TEL：075-494-1011
FAX：075-494-1022
URL：www.kukan.jp/
E-mail：office@kukan.jp

入選（B 部門第 3 分野）

KARA-IRO 唐彩

株式会社 丸二

彩（いろ）とりどりの唐紙で、ふんわりと灯りをつつみこんだペンダントライト。消灯時は唐紙ならではのふっくらとした風合いが楽しめ、明かりを灯すと和紙に摺られた唐紙が際立ち、幻想的な空間が広がる。中にフィルムをはさみこんだ、破れにくい和紙を使用。
和室に限らず洋室にも最適。他、旅館やホテル、店舗などでも OK。

品　　番：KI01 ～ 05
税込価格：26,568 円

株式会社 丸二
〒600-8076
京都市下京区高辻通堺町東入ル泉正寺町 462
TEL：075-361-1321
FAX：075-361-8876
http://www.maruni-kyoto.co.jp/
E-mail：satoh@maruni-kyoto.co.jp

入選（B 部門第 3 分野）

カメラ風呂敷

SOU・SOU

SOU・SOU×Lumix のコラボレーション。
伊勢木綿を使ったリバーシブルのラッピングクロス『カメラ風呂敷』。中綿が入っているのでクッション性があり、カメラ本体だけではなく、レンズ等を包むことも出来ます。カメラを持ち歩くのが楽しくなる、新提案です。

税込価格：2,808 円
内外商品販売店舗：SOU・SOU 直営店および netshop

若林株式会社
〒604-8042　京都市中京区新京極通四条上ル中之町 565-72　P-91 ビル 3F
TEL：075-229-6751　FAX：075-229-6750
URL：http://www.sousou.co.jp/　E-mail：net@sousounetshop.jp

入選（B 部門第 4 分野）

音とサクラの家

河西立雄

鳥のさえずりが反響する静かな場所。こだまする音の流れをひと繋がりの重量のある空間で受けとめ、木戸の開閉、筒状・袋状空間によって「音」を捉え楽しむ。既存の「サクラ」を残し時間的環境として継承、傾斜地の特性を引き出す奥行きのある長いアプローチで歩くことを誘発し、この場所の環境や地勢を堪能する。

京都府立大学大学院　河西研究室
〒606-8522
京都市左京区下鴨半木町 1
URL：http://www2.kpu.ac.jp/life_environ/arch_design/index.html
E-mail：kawanish@kpu.ac.jp

入選（B 部門第 4 分野）

京都産業大学　サギタリウス館

若江直生、吉野優輔、水上和哉、日野智之

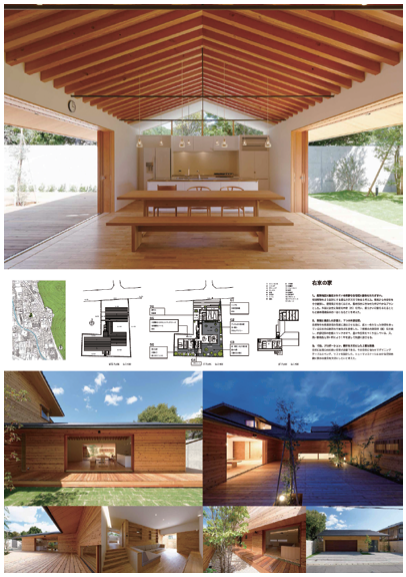
外国語部を中心とした教室群と、語学教育の中枢となる「グローバルコモンズ」を配置した新校舎。既存校舎と各階で接続し、一体的利用に配慮。
山並みを背に市街地へと眺望が拡がる大階段を中央に配し、その下部には自然光で明るい階段状のラウンジスペース及び教室を設置。高台の風景を最大限に活かした設計とした。

株式会社日建設計
株式会社日建スペースデザイン

入選（B 部門第 4 分野）

右京の家

波多野 崇
（A.C.E. 波多野一級建築士事務所）
村田昌司
（moda architects）



閑静な住宅地に建つ個人住宅である。良好な景観を借景とし、敷地の高低差を生かして異なる性質の庭を建物周囲に計画している。その外部空間と内部空間に連続性を持たせることで豊かな空間を作り出している。

A.C.E. 波多野一級建築士事務所
〒604-8081
京都市中京区寺町通り三条上る天性寺前町 538
TEL：075-723-7570
FAX：075-723-7570
URL：http://www.ne.jp/asahi/ace/kyoto/
E-mail：thatano@kyoto.email.ne.jp

入選（C 部門課題①）

「陰影」

土井智宏

株式会社トライアード
〒555-0012
大阪市西淀川区御幣島 2-18-25
TEL：06-6473-5800
FAX：06-6477-2500
URL：www.triad-japan.com
E-mail：doi-t@triad-japan.com

入選（C 部門課題①）

清酒 都鶴「雫」

松浦隆浩

ラベルには商標にある「鶴」の翼をあしらい、外箱はラベルがのぞくように四角の窓を作り、翼の一部がちょうど雫の形に見えるようになっている。伏見の名水の存在を強調し、箱から瓶を出す時の面白さを狙った。全体の色彩も鶴を意識するなど、訪日外国人向けなので言語でなく印象的な視覚コミュニケーションを大切にした。

審査会場（京都市立芸術大学）

■ 主催
（公社）京都デザイン協会

■後援
京都府
京都市
京都商工会議所
（公財）京都産業 21
京都府中小企業団体中央会
京都市立芸術大学
京都意匠文化研究機構
ジェトロ京都貿易情報センター
京都新聞
NHK 京都放送局
KBS 京都
エフエム京都

■協力
（有）画箋堂
京とうふ藤野（株）
京都芸術家国民健康保険組合
（株）尚雅堂
（株）染織と生活社
（株）田中直染料店
都鶴酒造（株）
府庁旧本館利活用応援ネット
ホルベイン画材（株）
（株）リーフ・パブリケーションズ

■賛助会員
（株）イヤタカ
（株）エクザム
（有）画箋堂
（株）京都銀行
京都信用金庫
京都中央信用金庫
京都百貨店協会
（株）境田商事
（株）宍粟住建
ジャパンコラボホールディングス（同）
（株）尚雅堂
（株）聖護院八ッ橋総本店
（株）竹尾大阪支店
（株）千總
日本写真印刷コミュニケーションズ（株）
（株）バウハウス
（株）パルテごとう
富士ゼロックス京都（株）
平和紙業（株）
（株）丸二
山内紙器（株）
六和証券（株）
（株）若林佛具製作所

■ 協賛
京都造形芸術大学
京都外国語大学
京都嵯峨芸術大学
京都精華大学
京都芸術デザイン専門学校
長岡スイミングスクール
（株）祇園平八
イワモトエンジニアリング（株）
（株）ＪＥＤ
刀剣 開陽堂
医療法人奈良会
株式会社 俄
（株）アートバンク
アーバンホテルシステム（株）
（株）アイビー長崎
アドバンストマテリアルジャパン（株）
（株）アルク
（株）IFA 住宅設計室
（株）かねわ工務店
薫技塾　徳舛瓦店（有）
北白川天然ラジウム温泉
NPO 法人京都伝統工芸情報センター
NPO 法人京都西陣町家スタジオ
京都履物（株）
（株）宍粟住建
ジャパン コラボ ホールディングス（同）
（有）匠弘堂
ターナー色彩（株）
（株）ターレンスジャパン
（有）大進工務店
（有）ティアック
（株）TNC ブライダルサービス
中嶌製版（株）
（株）ナカタニ工務店
（株）西村工務店
（株）PALM
BAL 中澤（株）
万朶花
（株）フクナガ
ホルベイン工業（株）
まつもとクリニック
（株）みっくす
（株）メディアホワイト
（株）メディアインパクト
湯の宿松栄・誠の湯
（株）大京穴吹不動産

DESIGN.
KYOTO

公益社団法人 京都デザイン協会
KYOTO　DESIGN　ASSOCIATION

〒604−8247　京都市中京区塩屋町39（三条通小川西北角）
TEL：050-3385-8008　FAX：050-3385-8009
http://www.kyoto-design.net/　E-mail：info@design.kyoto

20161101_1500